

平成 30年度 看護部 教育 計画

ラ ダー	到達レベル	目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
レ ベ ル I	I-①	<ul style="list-style-type: none"> ・新人教育を受けながら、看護実践ができる ・基本的な知識・技術・態度を修得し、正確で安全な看護実践ができる ・固定チーム継続受け持ち制の概念が理解でき、メンバーの役割が果たせる 	新採用者 オリエン テーション 基礎看護 技術習得	1か月後 フォロー 輸液、シリンジ ポンプ	3か月 フォロー 社会人 基礎力 内服薬	逝去時の 看護 医療事故 防止対策	皮膚排泄 ケア 認知症と その看護	6か月後 フォロー 人工呼吸器 IPPV	人工呼吸器 NPPV 呼吸器装着 患者の看護	ACLS 退院支援	多重課題 多重課題の フォロー	10ヶ月後 フォロー	「看護観」 の発表	
	I-②	<ul style="list-style-type: none"> ・指導、助言を受けながら、個別性に応じた看護計画の立案・実施・記録・評価ができる ・日々の業務を通じて、自己の役割を明確にし、メンバーシップを発揮できる 		フォロー コミュニ ケーション	褥瘡リスク アセスメント 他	急変回避 のとらえ方 ①	急変回避 のとらえ方 ② 認知症と その看護		看護過程 ①	看護過程 ②	看護過程 ③	看護倫理 「1人1事例」 の発表		
	I-③	<ul style="list-style-type: none"> ・加西病院の看護師として自立して看護実践ができる ・事例研究を通して自らの看護観を明確にできる 		エビデンス	看護倫理	看護倫理	事例研究の まとめ方 ①	事例研究の まとめ方 ②			事例発表会	事例発表の 振り返り	「看護観」 の発表	
レ ベ ル II	プリセプター <ul style="list-style-type: none"> ・プリセプターの役割を果たしながら、自己成長を促し、看護の知識・技術を深める 	<ol style="list-style-type: none"> 1. プリセプターの役割を理解し、新人指導ができる 1) 新人看護師のリアリティショックへの関わりができる 2) 新人看護師の成長段階に合わせた指導ができる 3) プリセプターを経験することにより自己成長ができる 	I-① 静脈注射・ 採血 伝達講習 プリセプター とは 目標設定 カレンダー 作成	「目指すプ リセプター 像」発表 リアリティ ショックとは	新人がおこ しやすい ヒヤリハット リフレク ション		フォロー コーチング 目標設定 カレンダー の修正 プリセプ ター・プリセ プティ中間 評価	多重課題に 参加と伝達 モチベー ションを上 げる 目標設定 カレンダー の確認	「目指すプ リセプター 像を振り返 って」発表 目標設定 カレンダー 評価					

ラダー		到達レベル	目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
レベルII	II-A	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら自立し、自律的に日常看護業務を遂行し、新人や後輩指導ができる ・リーダーの役割が自覚でき、リーダーシップ、メンバーシップが発揮できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護過程を踏まえ個別的なケアが実践できる ・リーダーの役割が自覚できリーダーシップ・メンバーシップが発揮できる ・課題に研究的に取り組み看護実践を振り返ることができる ・院内外の研修に参加し、看護実践に生かす事ができる ・後輩や学生の指導ができる 	各々2～4回／年 実施 ☆「看護倫理」研修 ☆「看護理論：中範囲理論」研修 「リーダーシップ(初級)」研修 「退院調整・退院支援」研修 「看護研究」研修 <div style="display: flex; align-items: center; margin-left: 200px;"> } 選択制とする </div>											
	II-B	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら自立し、自律的に日常看護業務を遂行し、新人や後輩指導ができる ・チームの中の自己の役割を明確にし、チームメンバーとしての行動が取れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護過程を踏まえ個別的なケアが実践できる ・チームの中の自己の役割を明確にし、チームメンバーとしての行動が取れる ・課題に研究的に取り組み看護実践を振り返ることができる ・院内外の研修に参加し、看護実践に生かすことができる ・後輩の指導ができる 												
レベルIII		<ul style="list-style-type: none"> ・自部署の領域における看護実践の役割モデルになれる ・後輩・学生に対し、指導的に関わることができる ・あらゆる場面においてリーダーシップを発揮できる ・部署内の教育に積極的に関わることができる ・自部署の目標達成に向けて推進力となれる ・看護研究を通して専門看護を深めることができる 	各々3～4回／年 実施 ☆「看護倫理」研修 講義受講者は次年度に実践発表 ☆「リーダーシップ(中級)」研修 講義受講者は次年度に実践発表												

ラダー	到達レベル	目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
レベルⅣ	・専門職としての役割モデルとなり、メンバーの育成や方向づけを行い、自部署や看護部の目標達成に貢献できる ・自部署を越えて組織に貢献できる	・専門的看護実践が行え、部署の役割モデルとなること ・部署における課題を明確にして目標を示しながら解決行動をとることができる ・部署において教育的役割を取ることができる ・上司を補佐し、部署の運営に積極的に関わることができる ・研究を行い、改善や改革をすることができる	* 資格認定試験 ・ 院外研修											
テーマ別	個々の専門的スキル知識技術質の高い看護の提供 看護実践能力を高める	認定看護師講師による研修 *急性期フィジカルアセスメント 年間6回シリーズ *糖尿病と看護 年間6回シリーズ * ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム 2日間	講師: 救急看護認定看護師 講師: 糖尿病看護認定看護師 講師: 緩和ケア認定看護師 他											
フォローアップ	組織に適応し、看護部の一員として力を発揮する	同じ立場の仲間と不安や悩み、疑問を共有する 自己が抱える問題の解決の糸口が見いだせる				中途採用者 フォローアップ研修 既卒採用者 フォローアップ研修						中途採用者 フォローアップ研修 既卒採用者 フォローアップ研修		
研修集	・看護実践能力の向上を図る	看護を取り巻く状況を理解する					看護の動向							
福祉士	・医療従事者としての認識を持ち、責任ある行動がとれる	看護助手業務に必要な知識と技術を習得する 患者サービスの向上に努める	基礎技術 習得講		認知症の 理解と対応	逝去時の 対応						BLS		
看護助手	・医療従事者としての認識を持ち、責任ある行動がとれる	看護助手業務に必要な知識と技術を習得する 患者サービスの向上に努める			認知症の 理解と対応	感染予防			口腔ケア			BLS		

職位別	・新主任研修	・主任としての役割と業務を理解する	・職位に応じたテーマ											
	・新副課長研修 ・新課長研修	・各々の職位に応じた役割と業務を理解する ・看護管理に関する知識・技術・能力を習得し実践に活かす												
管理者	管理① 管理② 管理③	・社会・看護の動向をとらえ、看護管理の実践に活かす ・看護管理の質を高める	・年間計画に準ずる											